



大原やすお

福岡市議会議員《早良区》

自然と人が共生した都市である田園都市を目指しながら、これからも市政に取組んでいくことを改めて決意しています。

福岡市民の意識調査では「福岡市は住みやすい」の理由の一つに「自然災害が少ない」を挙げています。しかしながら近年の世界で頻発する異常気象からは何時どの地域で災害が起こるか分からないという状況です。今年七月、西日本を襲った豪雨は予想だにできなかった地域が大きな被害に見舞われ、福岡地方も五百ミリを超す雨が降り触発水雷の状況でした。さらに梅雨明け後の連日猛暑は今までの記録を塗り替えました。このような異常気象の要因は地球温暖化と言われており、昨年パリで原因となる二酸化炭素の削減目標を定めたパリ議定書が発表されました。快適さや便利さを追い求めてきた結果がこのような状況になったと思えます。問題はすべて国に任せておいて解決できるものではありません。市町村単位の行政また市民一人ひとりが事の重大さを認識し考えたいべきだと思います。その解決策の一つに森林整備があげられます。私はこれまで森林の大切さを繰り返し議会などで訴えてきました。私たちの生命を支える最も重要な酸素や水を供給しているのが森林だからです。その大事な森林が全国的に荒廃しています。森林を正常に戻すためには木を植えて育て更に活用するというサイクルを確立する必要があります。このことで水の安定供給や災害防止など多面的な機能が発揮されるのです。



いあらし

大原 やすお

福岡を襲った豪雨 出された避難勧告や避難指示に

今年7月6・7日の豪雨は福岡市においても500mmを超える雨量で土砂崩れなど早良区南部を中心に被害が多発しました。雨足が激しくなるたびに避難勧告や避難指示がテレビや携帯電話から発せられました。その時、避難すべきか否か、どこに避難したらいいのか、どのように避難したらいいのかと色々迷われたのではないのでしょうか。調査によりますと避難警告での避難者はわずか3.6%だったそうです。

避難所と思っていた公民館や学校が土砂災害指定地域にあって避難が出来なかったり、避難所が狭く収容人数が限られたり、また避難所に固定電話が無く連絡が取れないなど“避難所”にも幾つも問題がありました。高齢者や障がい者をだれが何処の避難所に誘導するのかなど避難行動だけでも様々な課題が見えてき

あなたはどのような 行動をとりましたか

日頃から各家庭に配布されたハザードマップ(災害予想地図)をもとに、災害時にどのような行動をとるのかを家族、近所、地域の方々と話し合いをし確認し合うことがいかに大切かを感じました。

これからも気候変動によって様々な災害が予想されるなか、私も災害時にいかに被害を最小限に留めるか行政としっかりと協議を重ねながら取り組んでいきたいと思っています。



水かさが増し濁流となった室見川中流域 (H30.7.7 撮影)

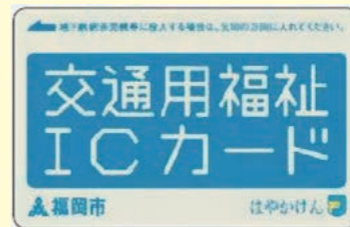
大丈夫！ 高齢者乗車券はなくなりません。

高齢者 交通用福祉乗車券について

高齢者の社会参加を促進し福祉の増進を図ることを目的に公共交通機関の乗車料金を助成するものです。70歳以上の高齢者19万4000人のうち7割を超える14万人に利用され皆様に大変喜ばれている制度です。それが廃止されるというう・わ・さ が広まり署名活動も行われたようです。

自民党会派の6月議会での質問に対して、「現在、廃止・削減といった具体的な検討は行っておりません。」と明確な答弁がありました。

9月には忘れずに申請していただいて活動の輪、交流の輪を広げていただき元気にお過ごしいただきますようお願いしております。



自由民主党 福岡市早良区第六支部 ご加入を募っています。

大原議員を支えていただく自民党党员を募集中です。
会費 年間おひとり4000円、ご家族の方は2000円です。

皆様のお支えによって議員も市議として活躍させていただけます。よろしく願いいたします。
お問い合わせは事務所まで。

今年も行きます バスハイク

大好評の寿々の会バスハイク。
今年も10-11月に3回計画中です。
お楽しみに！

ホームページリニューアル

この度、大原やすお後援会ホームページをリニューアルいたしました。スマートフォンからも見やすくなっております。
新しく議会報告のページを設けました。議員の質問内容や答弁がご覧いただけます。
ホームページへのご訪問お待ちしております。

後援会会長あいさつ



かつてない猛暑が続いていますが、皆様におかれましては変わりなくお過ごしのことと拝察申し上げます。
平素より大原市議に対し格別のご支援・ご協力をいただき感謝致しております。
皆様の力強いご支援により当選を果たした二期目も早いもので来春には選挙を迎えます。福岡市は現在、税収も政令都市で最も伸び率が高く「元気な都市」と言われています。しかし、数年後には人口減少と超高齢化社会を迎え財政的負担がさらに増え、市民生活に関係深い医療・福祉・教育・防災などにも様々な課題が山積しているようです。
昨年の議会において空港問題の審議が深夜まで及んだことを思い出される方も多いと思います。市政に真摯に向き合うことはもちろん、議員のモットーである「誠心誠意、即行動！」を心がけ、身近な市民の声にも全力投球、地域からの「室見川公園のジョギングコースの整備」についての陳情にも早急に対処し実現、関係者から大変喜ばれています。
大原議員は市・地域の広範な諸問題に全力で取り組み、三期目を目指し奮闘しています。何卒皆様方の引続きの力強いご支援をよろしくお願い申し上げます。



大原やすお後援会
会長 重松 森 雄

※絆通信印刷費用の一部は政務活動費から出させて頂いております。